

平成28年国民生活基礎調査(貯蓄票) 新旧対照表(案)

平成28年(案)	平成25年	変更理由
<p>(変更) (質問1)</p> <p>質問1 あなたの世帯に以下に掲げる貯蓄はありますか(平成28年6月末日現在)。 「1 貯蓄あり」「2 貯蓄なし」のいずれかに○をつけ、貯蓄がある場合は合計貯蓄現在高を記入してください。</p> <p>(1) ゆうちょ銀行、銀行、信用金庫、農業協同組合などの金融機関への貯金(預金)(普通貯金・普通預金、定期・定期貯金(預金)、積立貯金(預金)、当座預金等) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし</p> <p>生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料(掛け捨ての保険は除きます。) 【計算例】 ・月々の払込み額×12(か月)×これまでに払込んだ年数 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし ・年間の払込み額×これまでに払込んだ年数</p> <p>株式・株式投資信託(時価) } ※時価は6月末日で計算 債券(額面)、公社債投資信託(時価) } 金銭信託・貸付信託(額面) }</p> <p>(3) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし</p> <p>(4) その他の預貯金(財形貯蓄、社内預金等) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし</p> <p>合計貯蓄現在高 <input type="text"/> 万円  <small>億 千 百 十 ー</small></p>	<p>(質問1)</p> <p>質問1 あなたの世帯に以下に掲げる貯蓄はありますか(平成25年6月末日現在)。 「1 貯蓄あり」「2 貯蓄なし」のいずれかに○をつけ、貯蓄がある場合は合計貯蓄現在高を記入してください。</p> <p>(1) ゆうちょ銀行、銀行、信用金庫、農業協同組合などの金融機関への貯金(預金)(通常貯金・普通預金、定期・定期貯金(預金)、積立貯金(預金)、当座預金等) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし</p> <p>生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料(掛け捨ての保険は除きます。) 【計算例】 ・月々の払込み額×12(か月)×これまでに払込んだ年数 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし ・年間の払込み額×これまでに払込んだ年数</p> <p>株式・株式投資信託(時価) } ※時価は6月末日で計算 債券(額面)、公社債投資信託(時価) } 金銭信託・貸付信託(額面) }</p> <p>(3) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし</p> <p>(4) その他の預貯金(財形貯蓄、社内預金等) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし</p> <p>合計貯蓄現在高 <input type="text"/> 万円  <small>億 千 百 十 ー</small></p>	<p>調査対象年次を更新する。</p>
<p>(変更) (質問2)</p> <p>質問2 あなたの世帯の貯蓄現在高は昨年(平成27年6月末日)と比べて変わりましたか。 あてはまる番号に○をつけ、貯蓄が減った場合は減少額、減少理由を記入してください。</p> <p>1 貯蓄が増えた 2 貯蓄は変わらない 3 貯蓄が減った → 減少額 <input type="text"/> 万円  <small>億 千 百 十 ー</small>          あてはまるすべての理由の番号に○をつけてください。</p> <p>1 日常生活費への支出 2 土地・住宅の購入費 3 入学金、結婚費用、旅行等の一時的な支出 4 株式等の評価額の減少 5 その他</p>	<p>(質問2)</p> <p>質問2 あなたの世帯の貯蓄現在高は昨年(平成24年6月末日)と比べて変わりましたか。 あてはまる番号に○をつけ、貯蓄が減った場合は減少額、減少理由を記入してください。</p> <p>1 貯蓄が増えた 2 貯蓄は変わらない 3 貯蓄が減った → 減少額 <input type="text"/> 万円  <small>億 千 百 十 ー</small>          あてはまるすべての理由の番号に○をつけてください。</p> <p>1 日常生活費への支出 2 土地・住宅の購入費 3 入学金、結婚費用、旅行等の一時的な支出 4 株式等の評価額の減少 5 その他</p>	<p>調査対象年次を更新する。</p>
<p>(変更) (質問3)</p> <p>質問3 あなたの世帯に土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金等の生活のために必要な資金の借入金がありますか(平成28年6月末日現在)。 あてはまる番号に○をつけ、借入金がある場合は合計借入金残高を記入してください。</p> <p>1 借入金あり → 合計借入金残高 <input type="text"/> 万円  <small>億 千 百 十 ー</small>          2 借入金なし</p>	<p>(質問3)</p> <p>質問3 あなたの世帯に土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金等の生活のために必要な資金の借入金がありますか(平成25年6月末日現在)。 あてはまる番号に○をつけ、借入金がある場合は合計借入金残高を記入してください。</p> <p>1 借入金あり → 合計借入金残高 <input type="text"/> 万円  <small>億 千 百 十 ー</small>          2 借入金なし</p>	<p>調査対象年次を更新する。</p>